



AIYES 通信

横浜スペイン協会会報

発行：横浜スペイン協会 横浜市鶴見区岸谷 2-18-4 年4回発行（1月 4月 7月 11月）

祝 ナショナルデー

2022年10月12日 於：スペイン大使館

3年ぶりに開催されたスペイン大使館主催のナショナルデーレセプションにお招き頂き、協会の代表として家内と武菱理事、服部理事と出席して参りました。招待客は国会議員、関係省庁の幹部、各国大使館、民間企業幹部、スペイン友好協会関係者、日本在住のスペイン国民など、数百人のレベルの国際色あふれる華やかな雰囲気でした。冒頭、ケルト文化が今なお息づくスペイン北部の民族楽器でガイタと呼ばれるバグパイプにて、小嶋佑樹氏によるスペイン国歌と日本国歌が演奏されました。フィデル・センダゴルタ大使のご挨拶の概要は、1. パンデミックによる様々な制限が続いていたが、ようやく3年ぶりにお祝いの会を開催できた。人と人との対面での交流は重要。徐々にノーマルな生活に戻って来てはいるが、まだまだ安心できない。2. 最近、スペイン・日本両国間での交流がNATOサミット（6月）G20外務大臣クラスの会合（7月）スペイン・日本シンポジウム（10月）等を通して進んだ。3. パンデミック面だけではなく、ロシアのウクライナ侵略による世界の安全保障のリスクが増すなか、多国間の協力が必要。スペイン・日本両国においてはエネルギー、脱炭素化、再生可能エネルギー、電動自動車、デジタル経済、農産食品、観光、等の分野にて、リスクを削減してチャンスを活かし、これまで以上に両国間で連携して協力して参りたい。以上のようなお話でした。続いて山田賢司外務副大臣より祝辞と乾杯のご発声が行われ、歓談時間へ。ここ数年、スペインに行くこともかなわず、本場のスペイン食が恋しくなっていました。一流スペインレストランや輸入商社によるスペイン産ワイン、ビール、ハモンセラノ、タパス、パエージャ、フィデウア等いただきながら、久しぶりにスペインとの交流を推進されている多くの関係者の皆様と旧交を温めることが出来ました。会場が大使館中庭でしたので、以前当協会が寄贈させて頂いた桜の木も順調に生育している事も確認致しました。3年ぶりのレセプションは、オープンエアでのパーティー方式で、リアルに対面でお話し出来る素晴らしさを切に感じました。（会長 下山利明）



2022年度後期スペイン語教室開講のご案内

後期講座：2022年10月1日～2023年3月31日

30年以上の歴史がある横浜スペイン協会が運営するスペイン語教室です。当協会のスペイン語教室はスペイン語の習得だけでなく、スペインの文化にも幅広い知識や理解を深めることを目指しています。

1) お知らせ

- ・前期は4月、後期は10月に開講しますが、入会は随時できます。
- ・最初に見学を希望される方は、3教室、3回まで無料で見学ができます。
- ・クラスのレベルは凡その目安です。受講される前には無料見学で体験されることをお勧めします。
- ・各クラスの定員は一部を除いて原則15名です。クラスに空きがあるかどうかはその都度ご確認ください。
- ・入門、初級クラスは日本人講師の指導でしっかり基礎を学び、中級以上は本場スペイン語ネイティブ講師が指導します。
- ・受講申込み及び受講費等の詳細については、後述3)「受講申込み及び受講費」をご覧ください。

2) 実施中のスペイン語教室

2-1) 横浜駅周辺教室(「マグノリア」以外は横浜駅西口「かながわ県民センター」の会議室を使用します)

クラス名	レベル	項目	講座内容
1 マグノリア	入門	授業日 講師 教科書 講座内容	第1.2.3 木曜日 10:30～12:00 栗山由美子先生 「IDEAL(イデアル)」同学社 過去形の学習に入ります。テキスト使用の他に、様々な状況を設定して会話練習を重ねます。
2 フレシア	初級	授業日 講師 教科書 講座内容	第1.2.3 木曜日 10:30～12:00 中園竜之介先生 「文法から学べるスペイン語」ナツメ社 文法の基礎を学んだ方を対象に、より豊かな表現で意思疎通を図れるよう、過去形や接続法などの基礎よりワンランク上の文法や言い回しを学びます。
3 リリオ	初級	授業日 講師 教科書 講座内容	第1.2.3 木曜日 13:00～14:30 中園竜之介先生 "Lola Lago, detective"シリーズ Vacaciones al sol 文法を一通り学んだ方を対象に、会話文を多く含んだ教材を利用して、長い文章や会話を理解できるようになることを目指します。また、シチュエーションごとにフリートークを行います。
4 アサレア	初・中級	授業日 講師 教科書 講座内容	第1.2.3 水曜日 10:30～12:00 栗山由美子先生 Plaza Amigos Español para hablar III 一応の文法を学んだ方を対象に、聞き取り練習、スペイン語圏の社会事情を扱った記事の講読、様々な会話練習を通し、実際に使えるスペイン語を習得していきます。
5 セレソ	初・中級	授業日 講師 教科書 講座内容	第1.2.3 木曜日 10:30～12:00 山田るりこ先生 現在形を中心としたオリジナルテキスト 講師オリジナル編集の会話テキスト「サヨナラ、棒読みスペイン語！」で会話の基礎を固めます。
6 ハスミン	初・中級	授業日 講師 教科書 講座内容	第1・2・3月曜日 13:00～14:30 山田るりこ先生 「Plaza Mayor 2」 各課15問の作文を毎回2～3問ずつこなし、テキストが求める模範解答以外の表現の可能性も探る(接続法の単元でも、接続法を使わない方法など)。 並行して会話テキスト「サヨナラ、棒読みスペイン語！」をベースにした会話練習。
7 アマポーラ	初・中級	授業日 講師 教科書 講座内容	第1・2・3月曜日 10:30～12:00 山田るり子先生 1.「極める！スペイン語接続法ドリル」白水社 2.短編小説「TOTTO CHAN(窓際のトットちゃん)」日本スペイン協会 接続法を集中的に学習します。 また短編小説の読解を通じて単語力・表現力をつけていきます。 これらを交互に進めていきます。

8	カメラア	中級	授業日 講師 教科書 講座内容	第1・2・3月曜日 13:00～14:30 ビクトル先生(Prof.Victor Pérez バルセローナ出身) 第1、第2月曜日は「Español en Marcha4」 第3月曜日はビセンテ・プラスコ・イバネスの「Sangre y Arena」を読みます。 テキスト、物語は一回の授業で1～2ページとゆっくり進みます。 毎回交代で簡単に自分の出来事などをスペイン語で話します。 授業はスペイン語で行われます。
9	クラベル	中級	授業日 講師 教科書 講座内容	第1・2・3 水曜日 13:00～14:30 フランシスコ先生(Prof. Francisco J. Garzón Bravo グラナダ出身) 「Nuevo Español en Marcha 3 B1」、物語読本「Cuentos,Cuentos,Cuentos」 基本的なスペイン語の文法を一通り終了しもう一段階上のスペイン語を目指すクラスです。 第1、第2水曜日:「Nuevo Español en Marcha 3 B1」及び練習問題のプリント 第3水曜日:近況をスペイン語で発表した後、スペイン語の物語を購読。 授業はスペイン語で行われます。 【注】10～12月の3ヶ月はフランシスコ先生の代わりにビクトル先生が担当します。
10	ビオレタ	中・上級	授業日 講師 教科書 講座内容	第1・2・3 水曜日 10:30～12:00 ビクトル先生(Prof.Victor Pérez バルセローナ出身) 「Curso de Lectura Conversación y Redacción」SGEL社 会話中心の授業を展開しながら、芸術・文学・歴史・社会・伝統・習慣などを幅広く学びます。 授業はスペイン語で行われます。
11	ヒラソル	中・上級	授業日 講師 講座内容	第1・2・3 水曜日 10:30～12:00 フランシスコ先生(Prof.Francisco J. Garzón Bravo グラナダ出身) 第1水曜日 映画鑑賞と台本講読 「Todo sobre mi madre」アルモドバル監督作品 第2、3水曜日 スペイン語小説の講読「El Arquitecto y el Emperador de Arabia」 視聴と講読でスペイン語力を深めます。授業はスペイン語で行われます。
12	チャルラ	上級	授業日 講師 講座内容	第4月曜日 10:30～12:00 (開講日は別掲載「教室一覧表」をご覧ください) ビクトル先生(Prof.Victor Pérez カメラアクラス講師) スペイン語の新聞・雑誌等から政治、経済、社会、文化、その他の記事を取り上げ、それに関するディスカッションを通じてスペイン語力の向上を図ることを目標にします。

2-2) 横浜海岸通り教室

波止場会館 教室所在地: 横浜市中区海岸通り1-1				
	クラス名	レベル	項目	講座内容
13	新聞、雑誌を読むクラス	上級	授業日 講師 教科書 講座内容	第4土曜日 10:15～11:45 栗山由美子先生 スペインの新聞・"El País"の記事を主に使用。 スペインとラテンアメリカ情勢を中心にしてスペインから見た世界の情勢を勉強します。 (討論は日本語で行われます。) 記事の内容を理解するには上級程度の語学知識が必要です。

3) 受講申込み受講費他

- ① 各教室定員は、原則として15名。空席のある場合は会員優先で随時入会可。 **入会金不要**

【注】現在コロナ感染対策として人数制限をしています。定員に達しない場合でも受講をお断りすることがあります。

- ② 受講料:各教室 ¥1,500/回 半期分前納(前期15回、後期18回)。
・横浜スペイン協会以外の方は別途事務費2,000円(各期ごと)が必要です(協会員は無料)。
・期の途中から受講される場合は、受講日からの日割り計算になります。
- ③使用言語:外国人講師は日本語も堪能ですが、教室では生きたスペイン語が中心です。

・お問い合わせ、お申し込み先: 下記のメールアドレスにご連絡をお願い致します。

E-mailアドレス: spanish_class@yokohama-spain.jp

(spanishとclassの間にアンダーバーが入ります)

●スペイン語クラス

◇第12回夏季スペイン語文化講座の開催

夏季講習が8月3日と5日に開催され、講師はVictor先生でテーマは「スペインのボードゲーム Juegos de mesa de España」及び「スペイン帝国の退廃 La caída del Imperio Español」についてでした。

「スペインのボードゲーム」は、その名前のとおり、テーブルやボード（盤）の上で主にサイコロ、カードなどを使って行われる遊びです。これらのボードゲームのうち、El Parchís（インドすごろく）、El juego de oca（ガチョウすごろく）、El ajedrez（チェス）、Juego de naipes（スペイン式トランプ）についてその歴史、遊び方などの紹介がありました。「スペイン帝国の退廃」については、その主な背景として、16世紀～17世紀にわたる幾度の戦争による戦費負担増と領土割譲があります。具体的には、スペイン・ハプスブルグ朝時代のフランスとの対立、オスマントルコとの戦い、マルチン・ルターの宗教改革に伴うプロテスタントとの対立（30年戦争への介入など）、さらには台頭してきた英国との戦いなどがあります。さらには、疫病ペストの流行による死者の増加、一旦キリスト教に改宗したモリスコの国外追放、さらには中南米の植民地への移民の増加などが人口減少をもたらし、国力の低下につながっていきました。また、歴代王朝による寵臣政治による改革の遅れが指摘されました。（久谷幸雄）



◇21回クラス委員会の報告

7月15日（金）Zoomにてクラス委員会を開催しました。（出席者11名、欠席者2名）

- (1) 担当理事より 2022年後期に向けてのクラス運営方針として、①コロナ、高齢化で減少する受講生の増強を行うこと。②8/3、8/5にビクトル先生を講師に夏季講座の開設を予定していること。③県民センター以外の外部会議室の利用をさらに進める検討を行うこと。④クラス委員会、講師の先生とのミーティングにおいて受講生の満足度の向上を図ること。等の報告がありました。
- (2) 各クラス委員より、クラスの状況、要望につき報告がありました。授業内容は、週ごとに工夫を凝らした内容（テキストの購読、ビデオ鑑賞、テーマを決めたスピーチ/意見交換等）のクラス、テキストをベースに文法/作文に加え会話を取り入れたクラス、会話中心のクラス、テキストでの文法を中心としたクラス等、各クラス独自の授業内容となっています。受講生からの会話の機会を増やして欲しいとの要望に沿い近況報告の会話を取り入れたクラスもあります。クラスによっては授業終了後に内容をメールにて配布されるので授業に集中できるとの報告もありました。新聞クラスでは6月28日に25周年記念コンサートが開催され、多数のご参加がありました。
- (3) 担当理事提案の“お試しクラス”として年間でネイティブ会話、短期間での文法クラスを念頭に置いて10月以降で1クラスをZoomで開講する件については、クラス委員からはZoomでの単なる会話ではなく対象を絞ってやらないと機能しないのではとの意見もありました。またオープンクラスを11月～12月に開催したいとの提案に対し、クラス委員からは例えば2か月に何回でも可能とか、3クラスを各1回可能としたらどうかといった前向きな意見がありました。下山会長からは、生徒数増強のため夜間、休日開催の可能性の検討は急務でないかとのコメントもありました。

(4) その他質問に対し、担当理事より Wi-Fi 設備の会議室にて対面、Zoom での同時授業の可能性に対しては採算面、施設の両面から検討する旨、また雨天の時のオンライン授業については各クラスの判断に任せるとの回答を行いました。(原 健三郎)

●スペイン・サロン

「フランコ後のスペイン」

2022年9月17日(土) 波止場会館 講演者:江口義孝氏

作戦名「コロナ」は私に二つの疑問を残しました。CIA が関与してまで、なぜブランコ首相を殺害しなければならなかったのか、なぜテロが起きるのかです。その回答を得ることができた講演会でした。フランコ独裁政治終焉の1年前の1974年首相カレロ・ブランコが暗殺されます。乗っていた車ごと爆破されるのです。1978年にホアン・カルロス国王が読み上げる新憲法が發布され、スペインは立憲民主主義国家になりました。それはフランコの後継者がブランコ首相では独裁政治が継続されることは明らかで、世界は東西冷戦期だったことからアメリカ合衆国やヨーロッパ諸国がスペインを早く民主主義国家にしたいと切望した結果でした。また、多民族国家ではない日本では想像しがたいテロ



ですが、移民を受け入れ、複数の民族で成り立っている国家においては、過激派組織が生まれることが分かりました。2015年からは新政党の出現による多党化の時期になります。伝統ある政党のPSOE(スペイン社会労働党)PP(国民党)に対して新政党のCIUDADANOS、PODEMOS、VOXは若い世代の党首がリーダーシップを発揮しています。旧態依然な我が国の政党は若い世代と交代して、将来を担う若者が政治に関心を持てるような努力をして欲しいと思いました。(吉田美紀子)

◎新刊本のご紹介

「独裁者を倒せースペイン民主化の軌跡」 2022年8月発刊 出版社…三冬社

著者…江口義孝氏(NHK元報道局国際部長・解説主幹、現在は専門委員)

❖江口氏には、2018年6月、2022年5月の「旅の会」、9月の「スペイン・サロン」で講演をしていただきました。上記の著書は、作戦名「コロナ」を改題、加筆したものです。

●スペインサークル

《旅でスペインを識ろう会》

① 「世界巡礼ーコンポステーラと熊野古道ー」

2022年7月11日(月) かながわ県民センター 講演者:問屋正勝氏

❖日本とスペイン、宗教は違いますが同じような時期に似たような巡礼路ができ、多くの人が歩いていました。どこにいても人間の本质はあまり変わらないのかもしれませんが。私は、定年退職後の翌2007年から毎年のようにスペインと日本の巡礼路を歩き、総距離15,000kmになります。今回は、熊野古道の体験とコーディネート、通訳として関わったドキュメンタリー番組、「世界の巡礼〜コンポステーラと熊野古道〜」(三重テレビ制作)とその舞台裏をご紹介します。

❖問屋氏は、現在ポルトガル巡礼路(リスボンから)を北上してSantiago de Compostelaに向けて巡礼中です。その距離は、615km。帰国後のお話が楽しみです。

② 「四国香川の歩きお遍路」

2022年9月12日(月) かながわ県民センター 講演者：佐竹信一氏

❁足掛け4年かけて同じ仲間と、スペイン・カミーノ、熊野古道、四国遍路という3つの巡礼路を歩きました。今回は、今年4月の歩きお遍路6日間の旅の実際について、他と比較しながらスライドと写真で振り返りました。

●シネマサロン

「夢のアンデス」～The Cordillera of Dreams

監督 Patricio Gusmán チリ・フランス 2019年

1973年9月11日、軍事クーデターによりサルバドル・アジェンデ社会主義政権が倒された。これは米国CIAの指示で、アウグスト・ピノチェト軍部によるとされている。左派の人々は投獄され、3,000人以上の市民が虐殺されたという。このドキュメンタリー映画の監督・パトリシオ・グスマンは「チリの闘い」撮影後、政治犯としてとらえられたが、その後釈放され、フィルムを守るためにフランスへ亡命。この地より祖国を想い続け、時代の記録を後世に伝えたいと考え、「光のノスタルジア」、「真珠のボタン」に続いて、「夢のアンデス」を作った。美しくも厳しいアンデスの山々が象徴的に映し出されている。その原材料を使って作品を制作する彫刻家、歴史・小説の作家、また音楽家達がそれぞれ祖国への思いを語っている。また1980年代以降、政治的抵抗や国家による暴力行為を記録してきた映像作家・パブロ・サラスは「記録し、どんな時代だったのか次の世代に伝えたい。二度と過ちを繰り返さないために」という。ピノチェト政権が推し進めた「新自由主義」で経済の自由化が進められ、あらゆる面で利益追求が優先され、国民の間に格差を生んだとされる。今も社会・経済分野におけるピノチェトのプロジェクトが継続されていると言われているが、今年3月民主的選挙により再び左翼政権が生まれ、36歳のガブリエル・ボリッチが大統領になった。ピノチェト政権時代の憲法も改正草案が示され、9月に国民投票にかけられたが否決され（あまりの過激な改正事項があるとされる）、現在見直し中である。大統領にとって当面の問題としては、左右に分極化した政治的・社会的状況を組み立てなおすことだと言われている。（松本益代）



●会員活動報告

❁マドリッド在住の会員、鈴木裕さんからサラマンカ学派について寄稿していただきました。

《サラマンカ学派について》

世界的に有名なサラマンカ大学は1218年に創設され、世界で最も伝統のある大学の一つとして知られていますが、この大学で生まれたサラマンカ学派についてはそれ程知られていません。十六世紀初めドミニコ会修道士フランシスコデビクトリア(1492-1546)によってサラマンカ学派が誕生し研究活動が始まり、当時ヨーロッパで有名となり、教授陣はヨーロッパ各地の大学に講師として招かれ教鞭をとっていた歴史があります。フランシスコデビクトリアはスペイン王カルロス一世兼神聖ローマ皇帝カルロス五世の相談役として活躍し、彼の弟子たちはその後フェーリペ二世の顧問としてスペイン帝国の政策理念の基盤を築きました。学派の主な貢献は民主主義に基づく人権の尊重や人類平等の国際法の確立並びに市場経済学で、十六世紀の封建社会では極めて画期的な思想でヨーロッパにおいて先駆となりましたが、世界的には殆ど知られていません。具体的には、既に十五世紀末にイザベル女王による新大陸のインディオスにスペイン人と同じ市民権を与え奴隷禁止を命じた世界人権宣言に始まり、後にカルロス一世の時代からフランシスコデビ

クトリアにより、スペイン帝国の根本政策として人権尊重が制度化されています。500年以前にスペインでは既に人権尊重思想が生まれたことは驚くべき事実です。又、経済学分野でも1776年に出版されたアダムスミスの国富論は世界的に有名で、アダムスミスが現代経済学の生みの親で先祖となっていますが、実際には十六世紀初期のサラマンカ学派によって研究されていた市場経済学が、アダムスミスの国富論より200年以前に出来上がった理論であり経済学の先駆であった事はほとんど知られていません。従って、今日の民主主義や人権尊重、市場経済が、十六世紀スペインのサラマンカ学派によって生まれ現代に至っているにもかかわらず、世界的にはこの事実は知られておらず全てはイギリスが発祥地となってしまっているのは、黒の伝説によってスペイン帝国の存在が消されてしまった事に由来します。日本でも有名なオーストリアの経済学者 Schumpeter (1883-1950) は、サラマンカ学派に注目し市場経済理論について詳細に研究し経済分析の歴史書で、現在の経済理論はサラマンカ学派が立ち上げた理論であり、十八世紀にカルビン派新教徒が先駆者となっている経済理論ではない事を立証しています。この事実はノーベル賞経済学者 **Friedrich A. Hayek** も認め、市場経済理論や自由経済の原理は、全てスペインのイエズス会やサラマンカ学派が築き挙げた理論であり、スコットランドのカルビン派や新教徒のものではないと宣言しています。現在世界各国からスペイン語やスペイン文学を勉強の爲多数の学生がサラマンカ大学に留学していますが、このサラマンカ学派が二十世紀の国連の世界人権宣言に先立ち既に十五世紀末に宣言した事実や、国際法も十六世紀に出来上がっていた歴史的事実について、大半の学生は知らないままになっているのが実情のようです。アングロサクソン志向の世界秩序の中で教育された学生には、スペインが民主主義と人権尊重や市場経済の思想のパイオニアであったことなど全く想像もつかないのは当然の事かも知れません。しかしスペインに興味を持つ横浜スペイン協会のメンバーの皆様には、サラマンカ学派の存在について知っておくことは必須なのではないかと考えます。以前にもレポートしましたが、世界初の議会は十二世紀にスペインのレオン王国で開かれた歴史がありますが、これもアングロサクソンに影響された世界史ではイギリスが議会の世界初の議会発祥地となっている事は、スペインにとって全く納得できないことです。(鈴木 裕) 2022年6月

《スペインピアノ作品をたっぷり聴きました》

10月1日、五反田文化センター音楽ホールにて「第14回スペインピアノ作品を弾く会」が開催されました。主催の日本スペインピアノ音楽会(JSSPM)は、日本におけるスペイン音楽のスペシャリストたちが、スペイン語圏ピアノ音楽や文化の普及活動のために2015年に立ち上げた団体です。当協会の会員で、先日のセンダゴルタ新大使の歓迎会でピアノ演奏を担当された高木洋子さんも正会員でいらっしゃいます。高木さんを含め19名のピアニストたちが、3時間様々なスペイン音楽作品を発表されました。この音楽会は毎年1回開催されているようで、プロ・アマ問わずスペイン語圏音楽に熱い思いを持つピアニストたちの研究発表であることがわかりました。プログラムはアルベニス、グラナドスなど、耳にする機会が多い作品のほか、初めて聴く作品もあって興味深く3時間はあっという間でした。お馴染みの作品を聴きながら、アンダルシアの濃い光と影の風景、海からの風の香りなどの様々な旅情を思い浮かべて、コロナ禍で海外旅行がままならなくなり、ちぢこまってしまっていた私の心を遠くスペインまで連れ出してもらいました。また、パスカル・ヒメノという作曲家のクール(演奏会用リズムエチュード)という作品を初めて聴き、すっかりお気に入りになり、今はYouTubeで漁っています。このような出会いも面白いものです。最後のJSSPM会長上原由記音さんのご挨拶の「ベートーベンやモーツァルトもちろんいいのですがスペイン音楽も～」というお話は、「確かに！もっといろいろな音楽を聴いてみよう！」という気持ちにさせてくれました。自宅からバスでフラッと行けると思ってたって伺った音楽会でしたが、本当にたくさんの気づきがあった良い休日をお過ごししました。(下山綾子)



《ロンダ桜植樹プロジェクトのお知らせ》

協会 30 周年の記念行事として 2020 年 4 月に予定していたロンダでの桜の植樹は残念ながらコロナ禍で延期となりましたが、来年 2023 年は協会が初めてロンダに桜を植樹した 1993 年 3 月 29 日からちょうど 30 年を迎えることとなります。(添付の写真ご参照) ついては、来る 2023 年 3 月 28 日にロンダにて再度桜の植樹と文化交流を行うプロジェクトを検討しております。

現状コロナの感染者数は世界的に減少傾向にあり、海外への渡航も容易になりつつあるとはいえ来年 3 月の時点でどのような状況にあるかは予断を許しません。ついては、以下のような条件を設定して、全てがクリアされた段階で実行したいと考えております。



1. プロジェクト参加者(会員)が 10 名以上見込まれること。
2. 2022 年 12 月 31 日時点で日本とスペイン双方においてコロナ感染者が増加傾向にないこと。
3. 2023 年 3 月 28 日の 5 週間前の時点(飛行機の予約キャンセル可否を勘案)で日本とスペインにおいてコロナを含めてプロジェクトの実行に関して不安材料がないこと。

この記事をお読みいただいている頃には本プロジェクト参加のお誘いメールが皆様のところに届いていると思われまます。ついては今一度本プロジェクトへの参加をご検討ください。(岩田岳久)

新会員紹介

野中 正行 (Masayuki Nonaka)

東京都大田区在住 2022 年 7 月入会

2018 年頃よりスペインの歴史に興味を持ち、スペイン語も独学で勉強を始めました。2019 年 11 月頃ホームページで横浜スペイン協会を知り、さっそく 2020 年の新年パーティーにその後コロナ禍ではありましたが、主に旅の会に出席させていただきました。協会の皆様にはよく声をかけていただき、ありがたく感じたことが入会の動機です。現在は仕事の関係で難しいのですが、スペイン語クラスの受講の実現を希望しています。あらためてどうぞよろしく願いいたします。

<<賛助会員各社の会員サービス内容>>

◆会員証の提示で、下記賛助会員企業より表記のサービスが受けられます。

賛助会員	住所	☎番号	会員サービス
カサ・デ・フジモリ関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア 1 杯無料
Bar Español	横浜市中区相生町2-43-2	045-651-1074	サングリア 1 杯無料

《編集後記》 今号は、寄稿を複数掲載致しました。協会からの一方的なお知らせだけでなく、今後は皆さまからのプチ情報をたくさん載せていきたいなあと考えています。ありがたいことにシネマサロンも復活しました。コロナ禍との付き合い方もわかってきた私たちは、油断することはできませんが、外での活動の機会も増えてきています。こんなスペイン料理に出会ったよ、スペインからの旅行者と知り合いました…などなど、皆さまからの気軽な投稿をお待ちしています！私見、大いに結構です！！ (A.S)

編集長/下山綾子 編集委員/ 岩田岳久 大戸正彦 下山利明 武菱邦夫 服部君江 原健三郎 松村清

投稿寄稿宛先 E-mail 全般：info@yokohama-spain.jp
スペイン語教室：spanish_class@yokohama-spain.jp
スペイン・サロン：spain_salon@yokohama-spain.jp
ホームページ：<http://www.yokohama-spain.jp>

横浜スペイン協会

今回の原稿締切は

12月10日(土)です